



2025年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月11日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4829 URL https://www.nihon-e.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山浩一
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期第3四半期の連結業績（2024年6月1日～2025年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期第3四半期	3,263	△5.3	35	△81.9	52	△75.3	0	△99.8
2024年5月期第3四半期	3,445	10.1	196	60.2	210	59.9	160	162.7

(注) 包括利益 2025年5月期第3四半期 △62百万円 (-%) 2024年5月期第3四半期 171百万円 (132.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第3四半期	0.01	-
2024年5月期第3四半期	4.16	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年5月期第3四半期	5,620	4,884	84.1	122.69
2024年5月期	5,951	5,068	82.6	127.61

(参考) 自己資本 2025年5月期第3四半期 4,727百万円 2024年5月期 4,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	-	0.00	-	3.00	3.00
2025年5月期	-	0.00	-	-	-
2025年5月期（予想）	-	-	-	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,510	△4.0	65	△75.4	85	△69.5	15	△92.8	0.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年5月期3Q	38,534,900株	2024年5月期	38,534,900株
② 期末自己株式数	2025年5月期3Q	－株	2024年5月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年5月期3Q	38,534,900株	2024年5月期3Q	38,534,900株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ以降の「当四半期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復やインバウンド需要の高まりにより、景気は緩やかに回復傾向となる一方で、資源・エネルギー価格の高騰、円安による物価高、海外の情勢不安などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の下、当社グループに関連するITサービス業界は、高度なデジタル化・ネットワーク化に伴うニーズの高まりを背景に、モバイルコンテンツ関連市場の継続的な成長と企業のDX（注1）投資等により堅調に拡大しております。

これらの状況において、当社グループといたしましては、クリエイション事業（コンテンツサービス、ビジネスサポートサービス等）及びソリューション事業（システム開発サービス、業務支援サービス、その他サービス）を推進し、事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<クリエイション事業>

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する当事業は、一般消費者向け「コンテンツサービス」においては、月額コンテンツの会員増に向けたプロモーションに注力した他、通信キャリアの定額制コンテンツの販促強化及び新タイトル投入により増収となりました。

法人向け「ビジネスサポートサービス」においては、交通情報、キッティング支援（ツール販売）が増加したものの、キッティング支援（代行サービス）、コミュニケーション及びEC・ASPサービス等の減少により減収となりました。

以上の結果、クリエイション事業の売上高は12億95百万円（前年同四半期比0.5%増）、セグメント利益は2億76百万円（同19.8%減）となりました。

<ソリューション事業>

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とする当事業は、「システム開発サービス」においては、サステナビリティ経営に向けた企業のDX推進に伴い、AIやIoT（注2）等、様々な技術を組み合わせたシステム開発の需要が増大する中、スマートフォンアプリ及びサーバ構築の豊富なノウハウと実績が評価され、アプリ開発、WEB構築、サーバ構築、システム運用・監視、デバッグ、ユーザーサポート、販売促進等クリエイション事業で培ったノウハウを活かした受託開発・ラボ型開発（注3）を推し進めたものの、復調の遅れ等により減収となりました。

人手不足問題にマッチした「業務支援サービス」においては、大手通信キャリア等に対し、高度人材による上流工程の常駐型支援サービスの増進により増収となりました。

また「その他サービス」においては、ガラスコーティング剤の販売が伸長したものの、前第1四半期連結累計期間における特需（ソリューション関連機器）の剥落等により減収となりました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は19億67百万円（前年同四半期比8.7%減）、セグメント利益は1億98百万円（同30.0%減）となりました。

<連結決算の概況>

当第3四半期連結累計期間における売上高は32億63百万円（前年同四半期比5.3%減）、営業利益は35百万円（同81.9%減）、経常利益は52百万円（同75.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は0百万円（同99.8%減）となりました。

売上高については、「コンテンツサービス」「業務支援サービス」が増加したものの、「システム開発サービス」「ビジネスサポートサービス」「その他サービス」の減少に伴い減収となりました。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益については、通信キャリアの定額制コンテンツ、キッティング支援（ツール販売）等の増収が収益の改善に寄与したものの全体の売上高が減収した他、定額制コンテンツにおける運営管理費の増加、月額コンテンツ会員を拡大路線へ転換させる積極的な広告宣伝費の投下及びベースアップ実施に伴う人件費の増加等に伴い減益となりました。

（注1）「Digital Transformation」の略

「ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念

（注2）「Internet of Things」の略

モノをインターネットに接続して制御・認識等を行う仕組み

（注3）専任のITエンジニアチームによる開発支援形態

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3億31百万円減少し、56億20百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金の減少により前連結会計年度末と比較して7億60百万円減少し、45億45百万円となりました。固定資産においては、主に投資有価証券の増加により前連結会計年度末と比較して4億28百万円増加し、10億74百万円となりました。

負債につきましては、主に未払法人税等の減少、未払消費税等の減少、流動負債のその他（未払費用等）の減少及び賞与引当金の増加により前連結会計年度末と比較して1億47百万円減少し、7億35百万円となりました。

純資産につきましては、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少により前連結会計年度末と比較して1億83百万円減少し、48億84百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2024年7月12日に公表した連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2025年4月11日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

<今後について>

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する「クリエイション事業」における、一般消費者向け「コンテンツサービス」については、引き続き通信キャリアの定額制コンテンツの拡充や新タイトル投入を図るとともに、月額コンテンツについては、プロモーション強化に注力し月額会員を拡大路線へ転換させてまいります。

また、法人向け「ビジネスサポートサービス」については、特にキitting支援において、引き続き大量のスマートフォンを同時に自動設定ができる高品質なツール販売及びその代行サービスの拡充に注力するとともに、新ツールの販路拡大により大きく業績を牽引してまいります。

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とする「ソリューション事業」における「システム開発サービス」については、引き続き企業のDX投資意欲は総じて高く、クリエイション事業で培ったノウハウを活かしたトータルソリューションサービスを提供し既存顧客への深耕と新規顧客の獲得を推し進めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,424,561	3,670,697
売掛金及び契約資産	773,095	777,000
電子記録債権	36,080	—
商品	9,829	9,903
仕掛品	6,224	13,350
貯蔵品	204	182
未収入金	14,786	18,584
その他	41,730	56,495
貸倒引当金	△314	△314
流動資産合計	5,306,198	4,545,898
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	29,668	26,544
機械及び装置（純額）	213,782	196,069
土地	12,400	12,400
その他（純額）	28,384	22,970
有形固定資産合計	284,235	257,984
無形固定資産		
ソフトウェア	175,595	192,194
その他	6,243	5,639
無形固定資産合計	181,839	197,834
投資その他の資産		
投資有価証券	65,180	494,590
差入保証金	78,496	81,767
繰延税金資産	33,738	40,052
破産更生債権等	742	742
貸倒引当金	△742	△742
その他	2,120	2,120
投資その他の資産合計	179,535	618,530
固定資産合計	645,610	1,074,349
資産合計	5,951,809	5,620,247

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	212,888	206,838
1年内返済予定の長期借入金	21,538	23,496
未払法人税等	62,181	23,482
未払消費税等	64,618	30,095
契約負債	38,413	35,456
賞与引当金	—	34,029
その他	259,155	177,999
流動負債合計	658,795	531,397
固定負債		
長期借入金	138,369	118,789
退職給付に係る負債	53,953	56,961
その他	31,856	28,131
固定負債合計	224,179	203,882
負債合計	882,975	735,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,108,338	1,108,338
資本剰余金	984,894	984,894
利益剰余金	2,824,267	2,708,932
株主資本合計	4,917,499	4,802,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△74,282
その他の包括利益累計額合計	—	△74,282
新株予約権	2,599	3,052
非支配株主持分	148,734	154,032
純資産合計	5,068,834	4,884,967
負債純資産合計	5,951,809	5,620,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
売上高	3,445,255	3,263,056
売上原価	2,155,408	2,071,067
売上総利益	1,289,847	1,191,989
販売費及び一般管理費	1,093,377	1,156,515
営業利益	196,469	35,474
営業外収益		
受取利息	56	2,085
受取配当金	7,299	5,882
補助金収入	6,024	6,653
受取賃貸料	999	999
業務受託手数料	720	720
為替差益	253	-
その他	501	1,887
営業外収益合計	15,854	18,226
営業外費用		
支払利息	1,449	1,161
支払手数料	319	319
為替差損	-	118
その他	29	40
営業外費用合計	1,799	1,640
経常利益	210,524	52,060
特別利益		
投資有価証券売却益	22,402	-
特別利益合計	22,402	-
特別損失		
固定資産除却損	273	-
特別損失合計	273	-
税金等調整前四半期純利益	232,653	52,060
法人税、住民税及び事業税	70,518	46,360
法人税等調整額	△9,042	△6,313
法人税等合計	61,475	40,046
四半期純利益	171,178	12,014
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,943	11,726
親会社株主に帰属する四半期純利益	160,235	287

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
四半期純利益	171,178	12,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△74,282
その他の包括利益合計	—	△74,282
四半期包括利益	171,178	△62,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,235	△73,994
非支配株主に係る四半期包括利益	10,943	11,726

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,288,958	2,156,297	3,445,255	—	3,445,255
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	6,522	6,582	△6,582	—
計	1,289,018	2,162,819	3,451,838	△6,582	3,445,255
セグメント利益	345,339	283,226	628,565	△432,095	196,469

(注)セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△432,095千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年6月1日至2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,295,224	1,967,832	3,263,056	—	3,263,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	8,421	8,421	△8,421	—
計	1,295,224	1,976,253	3,271,478	△8,421	3,263,056
セグメント利益	276,929	198,338	475,267	△439,793	35,474

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△439,793千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年6月1日 至2025年2月28日)
減価償却費	78,470千円	84,386千円